～木林のために～ いま

明石市立二見中学校
第３学年(72回生)学年通信
2019(令和元) 年 10月 7日
第２１７号

文化祭の練習が始まりました！



（良い例）





（悪い例）

全校集会で、文化祭の練習にむけて生徒会や選抜合唱団のメンバーからどんな文化祭にしたいか、合唱の良い例とは、など詳しい説明がありました。いよいよ最後の文化祭にむけての取り組みです。初日の体育館練習は３組、金曜日は１組、５組、６組でした。

どのクラスもリーダーを中心に入退場の仕方や位置を確認していました。リーダーとしてきちんと指示を出し、次につながる意見を述べている姿はさすが３年生。これからの練習ではどこまでクラスの合唱、学年合唱を仕上げられるか、楽しみです。

１回１回の練習が有意義なものになるように、時間を大切にしていきましょう。



＊10月10日(木)は中間テストです。テストに向けての勉強にもしっかり取り組みましょう







知識生かす「賢さ」の会得を

中学生 14

国語の授業で「勉強ができることと、賢いことはどう違うか」という課題が出た。

「勉強ができること」とは、テストで高得点を獲得する力ではないだろうか。一方、「賢いこと」とは、人生の中で物事を考える際に、それまでに身に付けた知識を生かして、最良の道へと導くことができる能力だと考えている。

今、学んでいることは大人になってから利用しない知識ばかりで、何の役にも立たないと考えている人は少なくないと思う。しかし知識を応用することができれば、学んだことを無駄にすることなく、いろいろな分野で役立てることができる。

知識は「賢さ」があればこそ生かすことができる。勉強で得た知識は「賢さ」によって力を発揮するのだと思う。学んだことを無駄にせず、いろいろな物事に応用できるような賢さを会得したい。

（東京都文京区）

○この記事は、テストで良い点をとっても、それを活かすことができなければ、「賢い」とはいえないと言いたいんだと思う。私もそう思っている。でもそれは、テストで良い点をとっても全く意味がないということではないと思う。テストで良い点をとるという事は「知識」があるからで、「賢さ」はその「知識」を利用するから、もともとの土台がだめでは「賢さ」というものは無いと思うので、自分はまず、テストなどを頑張らないといけないのではないかと思った。

○僕は、この文章を読むまで「賢い」というのは勉強ができてテストの点数が高いことだと思っていたので、びっくりしました。でも、テストで高得点をとることは、大事だと思う。だから勉強は頑張らないといけないし、受験もあと半年もないので、頑張ろうと思った。そして、その過程で見つけた知識を応用できるようになりたいと思った。だから僕は勉強もできて、賢くなれるように頑張りたいと思った。

○もし授業で「勉強ができることと、賢いことはどう違うか」という課題がでたら、私は「どちらも同じ意味なのでは？」と思ってしまいます。そして、学んでいることは大人になってから利用しないので役に立たないと、つい考えてしまいます。でも、この人の考え方は、知識を応用することができれば、学んだことを無駄にする事なく役立てることができるという考えで、とてもすごいです。最後に賢さを会得したいと書いてあるが、この人はもうすでに、会得しているように私は思いました。

○勉強ができる＝賢いと思っていました。だけど、そうではないのだと、この記事を読んで思いました。勉強ができても賢くなれないのかもしれません。でも賢くなるために勉強する必要があると思います。だから、勉強ができる＝賢いは違っていても、勉強ができる≒賢いということだと思いました。学んだことを無駄にしないようにしていくことを大切にしていきたいです。

○「勉強ができる」というのはテストで高得点をとれる人とは同じ意見だけど、「賢いこと」というのは、２度と同じことは繰り返さない人のことだと思います。失敗しても、その失敗を覚えておいて、次にするときはそれと同じ結果にならないようにする人が賢い人だと思います。自分は両方できていないなと思いました。勉強もやったら点数が上がるかもしれないのにスマホを触ったりしてしまうからです。賢い人にもなれていないと思います。ただ勉強ができても、賢くても、相手の気持ちを考えることができない人は意味がないと思います。

○僕はいつも授業ですることなんか半分以上が将来役に立たないと思っていました。でも、これを読んで考え方が少し変わりました。全部学んだことはそれぞれの場所で応用することによって役に立つことが分かりました。応用するためには基礎をしっかりしないといけない。そしてその基礎は今の中学校や高校で学ばなければいけない。だから勉強をすることは大事だと思いました。勉強をするのは嫌いだけど、将来絶対に役立つので、今のうちから少しずつ頑張っていきたいと思います。

○私もこの記事の意見に賛成です。ただ勉強ができても、それを活かそうとしないのであれば学んだことが無駄になってしまいます。学んだことを活かそうとしても「どの場面で使うか」「どんな時に使うか」」などを考えて使う必要があります。だから私は賢さというのは柔軟に考えることや応用力を持つことが不可欠だと思いました。柔軟に考えたり、応用力を鍛えるには勉強するだけじゃなく、普段の生活にどう活かすかを考えることが大切だと思います。私はあまり柔軟に考えたりするのが得意ではないので、習ったときに、どんなときに使えるかを考えていきたいなと思いました。